

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2024(令和6)年
8月末発行

●連携コーディネーターの活動紹介

今号では関西広域産業共創プラットフォーム事業の連携コーディネーターの活動をご紹介します。今月は計19回の対面、またはオンラインによる面談を実施いたしました。このうち、対面で実施した面談の様子をご紹介します。



面談中の様子



製造現場の見学



試験中の様子



企業訪問の様子



面談中の様子



製造現場の見学

～事務局便り～

8月はオリンピックに始まり、台風でおわる月になりそうです。オリンピックでは、環境負荷低減や食の多様性など、時代の変化に合わせた新趣向が数多く実施され、賛否合い混じる様々な話題で連日賑やかでした。サプライズ満載の開会式を含め、前例主義とは真逆のダイナミックな変化を求め、それを誇りとするフランス国民の本気度と根性を実感しました。

「不易流行」ということばがあります。これは一言でいえば、変えるべきは変え、守るべきは守る、ということでしょうか。例えば日本では、歴史的な神社仏閣がいたる所にあり、周囲とは別世界の静寂な世界を保っています。革新的な技術や近代的な都市と、脈々と生きている歴史・文化・精神性が日常の中で違和感なく共存しています。これはとてもユニークエコロジーであり、最近のインバウンド効果を支える日本独特の魅力になっています。

さて、当PFでは毎週2件以上のペースで新規案件に対応し、常に新たな思考や行動が求められます。しかし、このダイナミズムに翻弄され、活動軸がぶれないようにすることも大事です。先人の知恵である不易流行の言葉を噛みしめつつ、事務局一同頑張っています。



人間国宝 認定へ

(地独) 京都市産業技術研究所

陶磁器研修修了生

陶芸作家 神農 巖 (しのう いわお) 氏

7月19日に行われた国の文化審議会において、陶芸作家の神農巖氏が「青磁」の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される見通しとなりました！！



神農氏は、研修生として京都市工業試験場（現：京都市産技研）で「青磁」の研究に取り組み、研修修了後も京都市産技研をご利用いただいております。京都市産技研一同、大変嬉しく思っています。京都市産技研では、今後も業界で活躍する人材の育成に邁進していきます！！

神農氏の情報はこれから

<https://shinno-ceramics.art/>

陶磁器研修の情報はこれから

<https://tc-kyoto.or.jp/densan/toujiki/>

生態工学会年次大会で水生ミズに関する研究が受賞

和歌山県工業技術センター

2024生態工学会年次大会（愛媛大会）において、工業技術センター赤木主任研究員が優秀講演賞を受賞しました。

講演タイトル

排水処理施設において高密度発生する水生ミズの生物学的特性と生態工学的利用の可能性

研究の概要

当センターでは、梅加工場の排水処理に高密度発生する水生ミズ（ウスベニミズ）に着目し、汚泥減容や養殖魚用飼料への展開を検討しています。ウスベニミズの生息密度は570万個体（13kg）/m³にもなり、淡水・海水ともに生存可能であることが分かっています。

実験室において培養条件を確立し、孵化（ふか）と産卵に対する温度の影響について調べました。また、低酸素条件下で卵包（コクーン）を数か月間保存できることを明らかにしました。

今後、地球上の環境生態系の構築だけでなく、月や火星など宇宙空間での利用も期待されます。

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.wakayama-kg.jp/news/2024/08/2024.html>



白色干渉型表面形状測定機を整備しました

(地独) 大阪産業技術研究所和泉センター

本装置は白色光の干渉を利用した非接触式表面形状測定機です。測定面にダメージを与えず、かつ短時間で三次元的な表面粗さや表面形状の評価が行えます。高さ方向の分解能が0.01nmと高いため、鏡面加工品の表面粗さを高精度に測定できます。その一方、10μm以上の凹凸を有する比較的粗い面の形状評価にも対応可能です。

【利用対象】

光学部品、機械部品、金属材料、およびプラスチック材料など



白色干渉型表面形状測定機 Opt-scope R (株式会社東京精密)	
対物レンズ倍率	5倍、10倍、20倍、50倍、100倍
垂直分解能 (Z)	0.01 nm
Z軸指示精度	±(0.1+ H /1000) μm (H: 測定高さ μm)
試料台可動範囲 (X, Y)	50 mm × 50 mm
最大試料高さ	200 mm
最大試料重量	20 kg
三次元粗さ・形状解析ソフト	SURFCOM MAP Premium

※詳しくは以下をご覧ください。

http://tri-osaka.jp/ryokin/kiki/kiki_detail/A1041.html

ものづくり分析評価技術研究会のご案内

京都府中小企業技術センター

令和元年度に発足した本研究会は、現場で生きる分光分析技術を中小企業の技術者が系統的に学べる場を提供することを目的に、分光分野の第1人者を講師とする講演会を年3～4回程度開催するほか、希望者を対象に操作実習会を併せて実施しています。今年度は最も身近な分光手法である『赤外分光』をテーマとした内容で開催します。

【研究会座長】

尾崎 幸洋氏（関西学院大学）

【講演】

第1回「赤外分光法の基礎」

日時：令和6年10月18日（金） 13:00～17:00

第2回「赤外分光法の原理と測定」

日時：令和6年11月19日（火） 13:00～17:00

第3回「赤外分光法の解析と量子化学計算」

日時：令和6年12月19日（木） 13:00～17:00

【操作実習会】

会場受講者のうち希望者を対象に、「フーリエ変換赤外分光光度計（FT-IR）」の操作実習会を京都府中小企業技術センターで開催します。（事前予約制）

【定員】オンサイト20名程度／オンライン30名程度（いずれも先着順）
（オンサイト会場：京都府京都市下京区 京都リサーチパーク内）

【参加費】5,000円／名

【問合せ】京都府中小企業技術センター 基盤技術課 材料評価係

TEL：075-315-8633／FAX：075-315-9497

E-mail：zairyou@kptc.jp

※詳しくは以下をご覧ください。

https://www.kptc.jp/kenkyukai/bunsekihyouka_2024/